

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	・7月末からインターハイが沖縄で開催され、出場選手や応援者のレンタカー予約がかなり入っている。特にワゴン系の車種は沖縄の全レンタカー会社が既に満車となっている。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・3月、4月の消費回復傾向は、雨量の多かった5月中旬以降の梅雨時期に鈍ってしまったが、梅雨明け以降に店頭での動向も活発になってきている。このまま緩やかな回復基調が継続することに期待する。
		コンビニ（経営者）	・冷やし麺の売上が伸びる他、近隣で夏祭りがあるため、良くなる。また、銀行のATMが設置されるので、来客数が増える。
		コンビニ（経営者）	・来客数は前年をクリアできている。さらに、インターハイが来客数増加につながり、買上単価の減少をカバーできるものと見込む。
		コンビニ（エリア担当）	・観光客の戻りが期待できる。客単価は変わらず低調だが、来客数に伸張が見られ、少なからず好調になりつつあると判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・前々月、前月と良くなってきているのでこの調子で良くなる。
		家電量販店（総務担当）	・3Dテレビの販売が軌道に乗れば、単価が持ち直す。
		その他専門店[楽器]（経営者）	・沖縄県のインターハイと夏祭りのイベントに積極的に関わって売上の前年増を目指す。
		観光型ホテル（総支配人）	・夏の繁忙期の予約は順調である。ただし、インターハイ等の一過性の大型イベントによるものでもあり、楽観はできない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・予約の間際化の傾向が強いこともあり、先行きが見えにくい状況ではあるが、沖縄のトップシーズンである7～9月の予約受注状況を見ても、今月よりは回復している。このままのペースを維持できれば、何とか今月よりはやや良くなる。
変わらない	コンビニ（エリア担当）	・客単価の回復が無い限り、個人消費が高まったとは言えない。客は欲しいものを安く買う傾向が高まり、今後も低価格路線は続く。	
	衣料品専門店（経営者）	・購買意欲はあると見受けられるが、買い控えする客が多く見られる。これから先々のことを考えてのことだと推測される。	
	通信会社（店長）	・夏の新品が出そろってきたが初動のみであり、市場を明るくするようなヒット商品も出てこないため販売数のアップは期待できない。沖縄自体が基地問題を始め景気回復につながるような明るい話題が無く、今後も停滞状態が続くおそれがある。	
	観光名所（職員）	・7月から8月にかけてインターハイが開催される。この時期は、沖縄への入域観光客数がピークを迎える時期と重なる。観光業界にとっては、県内での消費動向が気になるところであるが、インターハイの参加者層を考えると、景気回復は厳しい。	
	ゴルフ場（経営者）	・低単価による集客状況は変わらない。一度コースの値段が下がると練習場にも値下げ圧力がかかり、デフレスパイラルとなっている。最低でも2、3年はこういった芳しくない状況が続く。	
やや悪くなる	その他専門店[書籍]（店長）	・来客数の減少傾向はこの先も当分の間は変わらない。さらに減少傾向は強まる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・ここ近年の景気の低迷により、客が来ても販売量、及び1人当たりの消費単価が落ちているような状況である。観光客もまた多少盛り返してきているようだが、販売量は落ちている。単価も大変厳しく、売上増にはなっていない。	
	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・飲食業は生き残りをかけたサバイバル状態で、スタッフへの負担も大きくなっている。顧客の大部分を占める中小企業の早急な景気回復が望まれる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（管理部門）	・受注量が増える見込みである。
		輸送業（営業担当）	・全国的な景気回復の兆しもあることで、国内外の観光客も順調に回復、又は増加している。子ども手当や沖縄での高速道路無料化による経済効果も期待できる。
通信業（営業担当）	・受注案件の話が以前より聞かれるようになった。		

	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・個人住宅及び共同住宅建築を中心に、横ばいの見通しである。
		建設業（経営者）	・モデルハウス及び完成見学会への来場組数が横ばい状態である。リフォームの問い合わせ件数が減少している。
		輸送業（代表者）	・宮古・八重山・久米島の全地区とも季節要因を除いては、堅調に推移する。
		広告代理店（営業担当）	・まだまだ県民の消費支出が高まる傾向にないことから、民間企業の販促投資も弱気な傾向にある。今後は、国、県が取組む雇用政策や産業振興政策などの効果が見えるようになると多少は上昇傾向に変化するのでは、と期待している。
		会計事務所（所長）	・世界的にも日本的にも景気回復の報道は多い。しかし、取引先とやり取りをすると、実際の経済行動が反映されているのか不明に感じる。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・県内の求人数は減少傾向にあるものの、県外からの求人は少しずつではあるが、上向きに転じている。今後の中途採用求人に対して期待が持てる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在は依頼がしっかり増えているが、審議がストップしている労働者派遣法改正がどのようになるかで、まだ見えないところがある。また契約終了も同時に出てくるので、それを上回る夏場の依頼が取れるか、はっきりしない。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・求人件数が前年より増加傾向ではあるが、今後も引き続き増えるかは不透明である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・前年よりはかなり回復しているが、求人を控える企業もまだまだ増えてきており、今後は大きくは変わらない。
やや悪くなる	-	-	
	悪くなる	-	-